

2022年12月14日

京成電鉄株式会社

さらなる輸送の安全確保のために 「異常時総合訓練」を実施しました 土砂災害および乗用車との接触による脱線事故を想定

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2022年12月14日(水)に宗吾車両基地(千葉県印旛郡酒々井町)において「異常時総合訓練」を実施しました。

これは、12月10日(土)から始まった「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施したものです。多くのお客様がご利用になる年末年始に合わせて、重大事故発生時に安全を確保するための対応力・技術力の向上を図ることを目的として、毎年この時期に実施しています。

今回の訓練では、大雨による軌道内土砂流入復旧作業と、踏切内に乗用車が侵入し接触したことによる脱線および停電等が同時に発生したことを想定し、対策本部の設置や関係各方面への連絡通報等の訓練を実施しました。また、白杖をお持ちのお客様を含む列車内のお客様の避難誘導、ドローンを用いた現場の状況確認および現場の復旧作業などを当社と協力会社、佐倉警察署、酒々井消防署など合計190名が参加して実施しました。

本件の概要は、次頁の通りです。



訓練の様子(左:お客様避難誘導、右:脱線復旧作業)

異常時総合訓練の実施について

1. 日 時 2022年12月14日(水) 9時00分～12時30分
 2. 場 所 京成電鉄 宗吾車両基地
【所在地】千葉県印旛郡酒々井町下岩橋582-1
 3. 参加者 京成電鉄社員、協力会社社員(京成建設、京成電設工業)
佐倉警察署、酒々井消防署 合計190名
 4. 訓練概要 【想定】
 - (1)大雨による線路への土砂流入対応訓練
 - ①前日の夜から早朝にかけて発生した大雨の影響により、大佐倉駅の軌道付近の法面から土砂が流入。
 - ②運行不能のため、京成佐倉駅～宗吾参道駅間で運転見合わせ。
 - (2)踏切内での脱線事故の対応訓練
 - ①京成大久保駅付近の踏切にて、遮断している踏切に乗用車が侵入。非常停止手配を執るも間に合わず、列車左方下部に衝突し乗用車を100メートル引きずり停車した。
乗用車の運転手、乗客6名が負傷。視覚障がい者1名が乗車。
 - ②脱線の影響により、電車線が遮断し、停電発生。パンタグラフ、枕木、踏切遮断器および軌道脇の柵が損傷。
- 【内容】
- ① 災害対策本部・現地対策本部の設置と関係各所との連携
 - ② ドローンやウェアラブルカメラを使用した災害現場2か所と対策本部との情報伝達
 - ③ 列車防護、連絡通報、旅客の誘導案内
 - ④ 事故現場における復旧作業

以 上